

[okazaki_178]

活動タイトル	ワットモニター出前授業
実施日	2025年11月27日(木)
場所	江別市立大麻西小学校(江別市)
対象数	47名
内容	
<テーマ・ねらい>	
<p>小学校5年生を対象に、総合の授業として、2クラスで、それぞれ45分の「ゼロカーボンワットモニター出前授業」を行いました。この出前授業は、2017年から江別市が、希望する学校に対して行っているものです。</p>	
<実施内容>	
<p>導入:「将来、チョコレートが食べられなくなるかもしれない、って聞いたことがありますか?」という問い合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 2007年から2024年までの異常気象を示した世界地図のスライドショーを投影し、気づいた事を児童が発表 地球温暖化の仕組みや二酸化炭素などについて質問し、児童が回答。 上記の補足説明し、ゼロカーボンにも触れる 発電の説明 身近な家電の電力測定(1) 	
<p>白熱電球、電球型蛍光ランプ、LED電球の測定は、児童3人に、スイッチを入れたり、ワットモニターの表示を読んだり、電球の熱さを体感してもらったりして、それを他の児童に伝えてもらう。この3種類の電力の違いから時代が進むにつれて照明の省エネが進んでいることを実感する。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 身近な家電の電力測定(2) <p>ドライヤー、掃除機、テレビの電力測定は、事前に、電力の多い順を予想→児童にワットモニターの数字を読んで皆に伝えてもらい、順位を確認。画面の明るさや強弱の違いによる電力の違いや、使用時間による電気代を示すことで、使い方や使用時間によって、電力量、電気代が変わってくることに気づく。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> グループでの話し合い <p>自分ができること、学校でできること、江別市でできることについて、それぞれのアイデアを付箋に書き、模造紙に貼りながら、共有。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 振り返り <p>「へえ!と思ったこと、疑問に思ったこと、もっと調べたいと思ったこと」をワークシートに記載</p>	
<配付資料>	
ワークシート、E・E・Eこどもドリル(NPO法人北海道グリーンファンド作成)、	
<感想・課題>	
<ul style="list-style-type: none"> どちらのクラスも、グループでの話し合いが、しっかりできていました。江別市でできることとして、「1ヶ月や1週間に1回、幼木を植える日を作る(市民全員)」「江別市全体で『植物を植える』活動をする。」「節電の日を決める」(複数あり)「発電するのもCO2 	

を出さないやり方です」「発電するのも CO₂ を出さないやり方です」「ごみ拾い企画」（複数あり）「まだ使えるものや食べられるものは、修理したり、食べきったりする」のほか、3R や 5R に触れる提案などがありました。

- ・児童の感想に、「自分でできることは考えてみれば、たくさんあったし、学校や江別市でも考えてみればたくさんあったのでやってみたい。」「自分たちにできることはもっとたくさんあるから調べてみたい！」「江別の取り組みをもっと知りたい。」（複数あり）などがありました。
- ・先生からは、「ゼロカーボンのためにできることを、多方面から考えることができ、総合で調べている SDGs の学習とつながっていました。」という感想をいただきました。